

令和3年度 有機フッ素化合物に係る綾瀬市内地下水の継続監視結果

1 実施機関

神奈川県

2 項目

ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)

3 調査日程

令和3年10月13日 (水)

4 測定方法

令和2年5月28日付け 環水大水発第2005281号及び環水大土発第2005282号 付表1

5 結果

令和2年度に環境省が実施した「有機フッ素化合物全国存在状況把握調査」において、暫定目標値 (PFOS 及び PFOA の合計値として 50ng/L) の超過が認められた地点の地下水について、県が再調査を行ったところ、次のとおりでした。

今回調査した井戸は飲み水に利用されていませんが、綾瀬市では、周辺地域の住民等に対し、井戸水の飲用を控え水道水等を使用するよう注意喚起を行っています。

調査地点	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA 合計値 (ng/L)
綾瀬市本蓼川 (参考：令和2年度環境省調査)	2,500 (1,300)	76 (48)	2,600 (1,300)

※有効桁数2桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しません。

6 対応等

県では、今回の調査地点における有機フッ素化合物の経年的な推移を把握するため、当面の間、監視を継続します。